

### 介護予防事業について

佐藤 聡一



〔質問〕本市も高齢化が確実に進み、さらに介護予防事業が重要性を増してくる中、介護予防センターの利用計画について伺う。

〔答弁〕〔市長〕介護予防センターは、高齢者向けのトレーニングマシンを使用した筋力向上のための事業を実施してきた。しかし、高齢者の交通手段の問題や1回に実施できる人数の問題等、高齢者に広く普及していくには課題があった。

そこで、平成27年度からは、各集会所などを活用し、おもりを使用してマシンと同じ効果が期待できる、「いきいき百歳体操」の普及

に取り組んでいる。

平成29年度は、介護予防センターを地域の運動ボランティアの養成や脳トレなどの介護予防教室に使用する予定である。

◎平成29年度施政方針について

〔質問〕施政方針では、スマートインターチェンジ整備や企業誘致について、また所信表明では、道の駅や子ども屋内遊び場について言及している。

そこに、東北本線や東北新幹線の駅、小十郎の郷などの既存施設を含め、観光・商業・物流・生活の動線を考慮した、本市を活性化させるための都市計画道路の見直しが必要と考えるが、所見を伺う。  
〔答弁〕〔市長〕今回の見直しは、都市計画道

路の未着手部分について検討している。

現在の用途地域指定や沿道の利用状況、町並みを考慮し、土地利用をどのように誘導できるか、歩行者などに配慮した安全な道路づくりを重視した見直しをしていきたい。

〔質問〕白石蔵王駅は通勤・通学のみならず、県の南端の駅として、観光バス発着のハブにもなり得ると考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕仙台の中学校が修学旅行のため、白石インターチェンジと白石蔵王駅を利用している。

白石蔵王駅をもっと利活用するために、スマートインターチェンジや道の駅などが連動してくるような施策を考えていきたい。

〔その他の質問〕

◎2020年東京オリンピック・パラリンピック、ベラルーシ共和国新体操チーム合宿受け入れについて

### 施政方針について

四 竈 英 夫



〔質問〕放射能対策について、基準値を超え焼却できずに各地区に保管している焼却灰は、今後、どのように対処するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕指定廃棄物は、国の責任で処理推進されるべきものである。

国の管理責任と東京電力株式会社の排出責任を強く求めながら、適切に対応していきたいと考えている。

〔質問〕子育て支援対策の「一時預かり事業」について、その内容を伺う。

〔答弁〕〔子ども家庭課長〕保護者の突発的な事情により、一時的に保育が困難な場合や育児疲れなどの場合、週

3日以内で預かるものである。

〔質問〕公立刈田総合病院の医師やスタッフの不足について、宮城県や東北大学病院とどのような連携をとるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕県及び東北大学病院や東北医科薬科大学病院に現状を説明し、医師の招聘に全力で努めていきたい。

〔質問〕現在、企業誘致が大きな課題となっているが、新たな工業団地の造成は考えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現在の工業団地は、完売状態であり、現時点ではオーダーメイド方式を推進したいと考えている。今後とも、トップセーブルスにあたり、企業誘致の活動促進を全力で

図っていききたい。

〔質問〕食味日本一を目指す「ササニシキ」や白石三白野菜の生産拡大の推進方法について伺う。

〔答弁〕〔市長〕農産物が持つ品種特性や栽培地域特性に合った品種等、多くの要因を考慮しながら進める必要がある。

県の栽培指導も受けながら、白石ブランドの確立を図っていききたいと考えている。

〔質問〕益岡公園野球場の改修事業の見直しについて伺う。

〔答弁〕〔市長〕国の公園施設長寿命化対策事業による交付金を受け、平成28・29年度で行う。しかし、平成28年度は4割しか交付金が交付されなかったため、工事が遅れている。

計画通り完成できるように全力で努めていきたい。